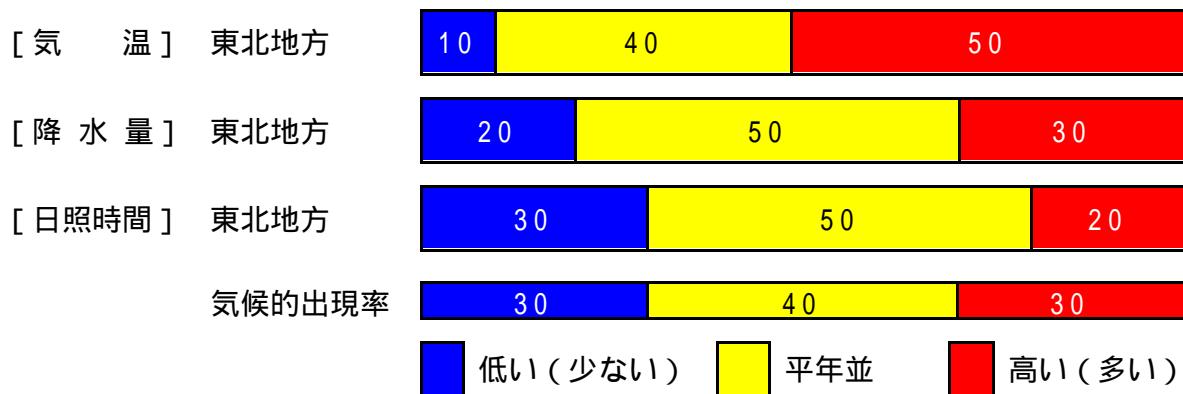


東北地方1か月予報の解説(予報期間:6月10日~7月9日)

平成12年6月9日 仙台管区気象台

1. 向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)



[気温]: 東北地方は「高い」の可能性が最も大きく、その確率は50%です。次に大きい確率は「平年並」で、その確率は40%です。「低い」の可能性は10%と小さい。

[降水量]: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は50%です。次に大きい可能性は「多い」で、その確率は30%です。「少ない」の可能性は20%と小さい。

[日照時間]: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は50%です。次に大きい可能性は「少ない」で、その確率は30%です。「多い」の可能性は20%と小さい。

2. 予想される天候の特徴

(もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。)

向こう1か月

東北地方は、前半は、前線や低気圧の影響を受ける時期があり、天気のぐずつく日があるでしょう。後半は、前線や低気圧の影響をうけ、曇りや雨の日が多くなる見込みです。

平均気温は高いでしょう。

平年の晴れ日数は、東北地方で約14日です。

各予報期間の天候の特徴

1週目…………… 期間の初めに、気圧の谷や前線の影響で天気のくずれる所があるでしょう。(6月10日~6月16日) その後は、おおむね晴ますが、にわか雨の降る所がある見込みです。

平均気温は平年並の見込みです。

平年の晴れ日数は東北地方で約3日です。

2週目…………… 前線や低気圧の影響を受ける時期があり、天気のぐずつく日がある(6月17日~6月23日) 見込みです。

平均気温は高い見込みです。

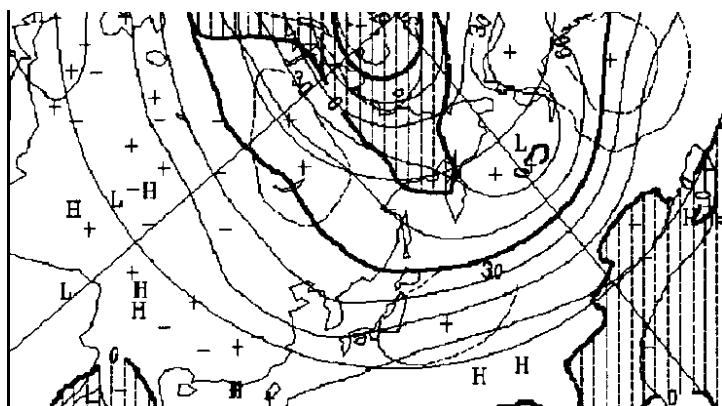
平年の晴れ日数は東北地方で約3日です。

3~4週目…………… 梅雨前線や低気圧の影響で平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。(6月24日~7月7日)

平均気温は平年並の見込みです。

平年の晴れ日数は東北地方で約6日です。

予想される天候に関する循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

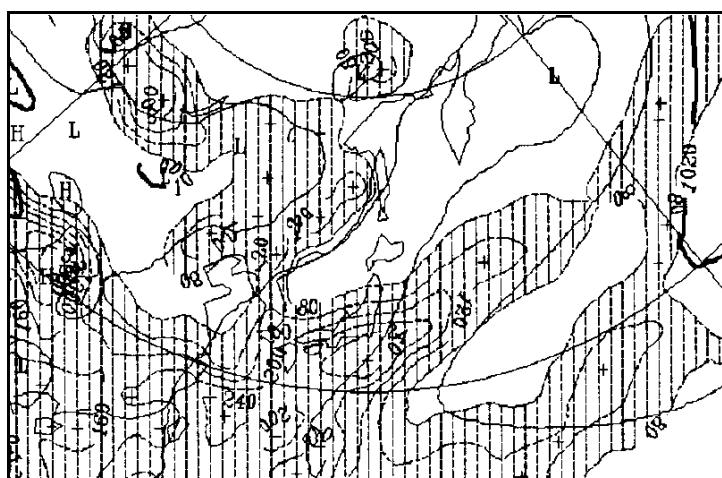


月平均の 500hPa 高度・偏差
(等高度線 : 60m 毎、偏差 : 30m 毎、陰影部 : 負偏差)

・ 500hPa 高度・偏差

月平均でみると、極東域は広く正偏差で、東北地方は東海上に中心を持つ強い正偏差に覆われる。上空の流れは、朝鮮半島付近に気圧の谷がある西谷で、南から暖かく湿った空気が入りやすく、日本の南にある太平洋高気圧も平年より強い。

週別（図略）では、1週目は月平均と同様に西谷傾向、2週目は日本の南の太平洋高気圧が西へ張り出すため、西谷が弱まり、前線の活動が弱まる見込み。3~4週目には、再び西谷傾向となり、前線の活動が活発となる見込み。



月平均の地上気圧と降水量
(等圧線 : 4hPa 毎、降水量 : 40mm 毎、陰影部 : 80mm 以上)

・ 地上気圧と降水量

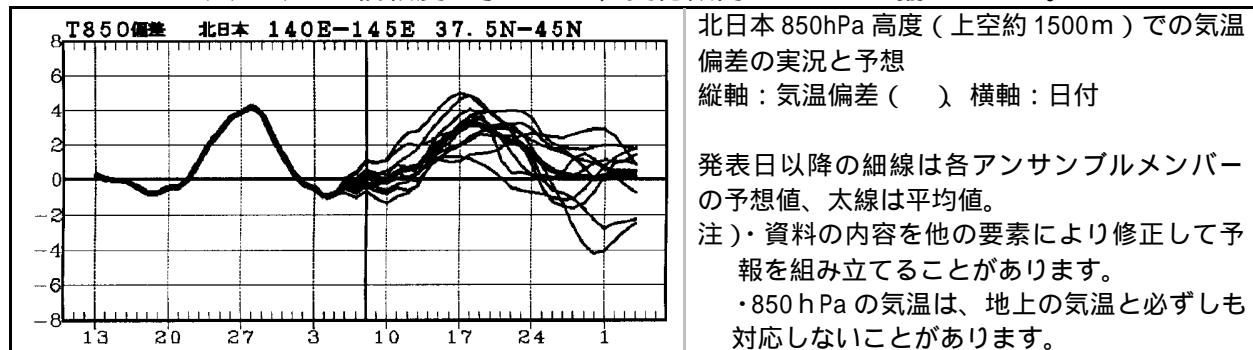
月平均でみると、日本の南には太平洋高気圧がひろく張り出している。一方、中国東北区からアリューシャン列島付近にかけて低圧部となっている。

降水域は、梅雨前線に対応した本州南岸沿いと沿海州からバイカル湖方面に伸びるものがある。

週別（図略）では、1週目は日本の南岸に梅雨前線対応の降水域が東西に伸びるが、東北地方にまとまったものはつかない。2週目は太平洋高気圧が西へ勢力を強めるため、前線の活動は弱まる見込みで、華南から本州にかけて弱い降水域が広がる。3~4週目は、前線の活動が活発となり、日本の南岸沿いのまとまった降水域が東北南部にかかる。

3. 北日本 850 hPa の気温平年差の実況と各アンサンブルメンバーの予想

北日本 850 hPa の気温平年差は、アンサンブルメンバーの平均でみると、現在が低極だが平年並で、2週目には高極となり、その後は平年並で推移する見込み。2週目以降はメンバー間のばらつきは大きくなり信頼度は小さいが、変化傾向はおおむね揃っている。

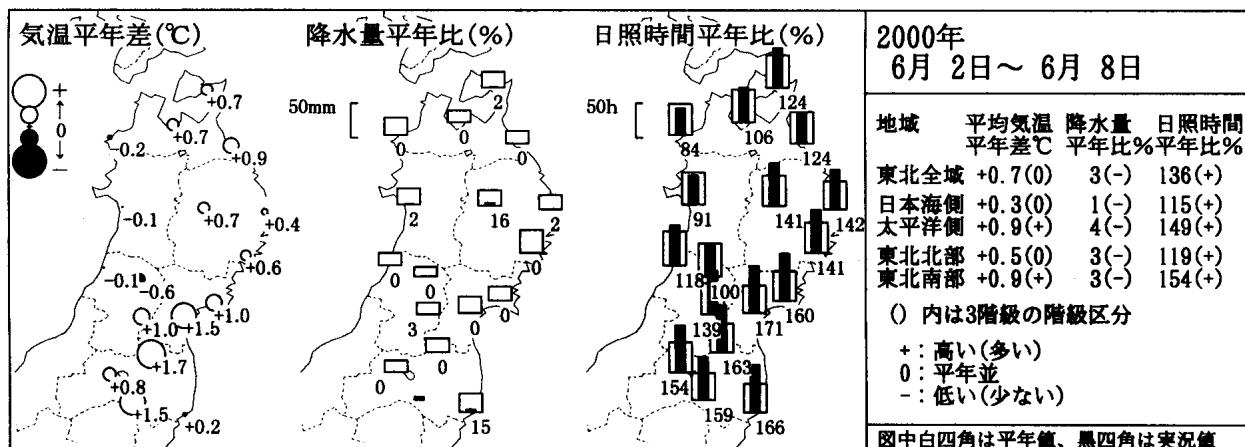


注: 1か月予報では、よく似た初期値から出発した10個の数値予報結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します(この手法をアンサンブル予報といい、10個の予報結果のそれぞれをアンサンブルメンバーといいます)。一般に予報結果がばらつかないほど、大気の流れが予測しやすい状態にあると考えられます。このような状態の時は、信頼度が高くなり、確率の大きな予報を出すことができます。

4. 最近1週間(6月2日~6月8日)の天候の経過

この期間、東北地方は高気圧に覆われ晴れる日が多かったが、3~4日には上空に一時寒気が入って、にわか雨や雷雨となるところもあった。8日は、気圧の谷の接近で曇りとなるところが多かった。なお、5月中旬頃から各地で少雨傾向が続いている。

平均気温は、東北地方で平年差+0.7と平年並だった。降水量は、東北地方で平年比3%と平年より少なかった。日照時間は、東北地方で平年比136%と平年より多かった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)

5. 各地の梅雨入りについて

九州北部・南部、四国地方では6月3日ごろ、中国地方では6月8日ごろ、近畿、東海、関東甲信、北陸地方では6月9日ごろ梅雨入りしたと見られると発表した。

	平年の梅雨入り	昨年の梅雨入り	平年の梅雨明け	昨年の梅雨明け
東北南部	6月 12日ごろ	6月 16日ごろ	7月 23日ごろ	7月 24日ごろ
東北北部	6月 14日ごろ	6月 16日ごろ	7月 26日ごろ	7月 26日ごろ